

福生市環境基本計画実行計画

27

(平成 27 年度実行計画進捗状況)

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

◆福生市環境基本計画実行計画

戦略プロジェクトの展開 - - - - - P 1

1 地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト - - P 1

2 自然や緑を守りつくるプロジェクト - - - - - P 1

3 福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト - - - - - P 1

分野別施策 - - - - - P 1

第1節 自然の保全・再生 - - - - - P 1

1 自然の水循環、多摩川の再生 - - - - - P 1

2 都市の自然の再生 - - - - - P 2

第2節 潤い豊かな安心できるまちの創造 - - - - - P 2

1 福生らしい景観、資源を活かすまちづくり - - - - - P 2

2 安心して歩ける道・緑の街づくり - - - - - P 3

第3節 暮らし方の変革・地球システムへの融合 - - - - - P 4

1 ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進 - - - - - P 4

2 地球環境問題・公害等への取り組み - - - - - P 5

計画の推進 - - - - - P 6

第1節 環境教育・学習の推進 - - - - - P 6

第2節 パートナーシップの確立 - - - - - P 8

1 協働事業の明確化 - - - - - P 8

2 町会・自治会への働きかけ - - - - - P 8

3 協働による事業推進の方法の確立 - - - - - P 9

第3節 計画推進体制の確立 - - - - - P 9

1 環境マネジメントシステムのレベルアップ - - - - - P 9

2 事業化システムの研究 - - - - - P 9

◆福生市環境基本計画実行計画の策定について

1 目的

この福生市環境基本計画実行計画（以下「実行計画」という。）は、福生市環境基本計画中期実施計画に定める目標及び市の具体的な取り組みを着実に推進するため、実行計画として策定した。

2 実行計画の内容等

- （1）本実行計画は、福生市環境基本計画中期実施計画の基本目標達成のための具体的な取り組み事項及びその内容、計画年度等を明らかにした。
- （2）平成 27 年度の実行計画の進捗状況、実施状況を評価し、表中に記載する。

【評価基準】

実施評価		状況評価	
実施できた（100%）	A	順調に進んでいる（100%）	①
おおむね実施できた（80%）	B	ほぼ順調（80%）	②
やや実施できた（50%）	C	多少低調気味（50%）	③
未実施	D	低調	④

【評価理由】

評価理由については状況評価の評価理由を記載。

実施評価で「D：未実施」の場合については、状況評価を行えないため「D：未実施」の理由を記載。

- （3）決算額の[]書きは、福生スクラム・マイナス 50%協議会予算の決算である。

3 推進体制

- （1）本実行計画は、福生市環境事業推進会議が進行管理し、進捗状況を福生市環境審議会に報告し、意見を求める。
- （2）本実行計画の進捗状況については、市のホームページにより市民に公表する。

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
1	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	生ごみ減量化への社会実験	10	生ごみ減量化への社会実験	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	減量化呼びかけ、生ごみ処理機等補助効果の実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。	
2	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	ごみを資源化する	食用廃油リサイクルの研究	10	食用廃油リサイクルの研究	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	実態調査	国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討する。	0					国、都の動向、近隣市町村の状況と費用対効果などを調査し、検討した。	A	②	未だ導入実績は少ない。	
3	戦略プロジェクト	地球にやさしいライフスタイル転換プロジェクト	自転車のまちをつくる	電動アシスト自転車レンタルサイクルシステム運営の研究	11	サイクルシェアリング事業	生活環境部	環境課	環境係	継続	電動アシスト自転車のサイクルシェアリングにより、市内回遊性の向上による地域活性化と低炭素な移動手段による地球温暖化対策として地球にやさしいまちづくりを目指す。愛称は「たっけー☆☆サイクル」として広く市内外の方の利用を促進。	くるみる ふっさを軸とした「まちなかおもてなし事業」としてサイクルシェアリングの運営を継続する。 ※予算は環境課所管のみ(まちなかおもてなし事業は委託により実施し、ティール推進課と環境課の共同事業)	5,507,760	衛生費	保健衛生費	環境保全費	サイクルシェアリング事業費	福祉センター駐車場内にサイクルポートを開設し、市内5箇所サイクルポートを整備した。	A	①	福祉センターのサイクルポートの開設したこと、田園地域からJR路線へのアクセスが便利になった。	
4	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	湧水を守る	湧水モニタリング調査、湧水地点での生き物調査	12	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	継続	湧水モニタリング調査の実施	湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。	0					毎月一度、湧水3箇所と多摩川の水質検査を行った。また、春夏秋冬の代表月でそれぞれ、湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数：12回	A	②	大学研究室の検査機器の不具合により詳細な検査結果が出揃っていない。	
5	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	市民による樹林管理体制の強化	12	市民による樹林管理体制の強化	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	福生萌芽会、みずくらいど・加美上水ボランティアをはじめとした公園ボランティアを活用した樹林管理体制を推進していく。	市民ボランティアを活用した管理システムにむけて検討、研究をしていく。	35,758	土木費	都市計画費	公園管理費	公園維持管理費	福生萌芽会 毎月1回(平均12人) 水喰土ボラティ7 毎月1回(平均8人) 加美上水ボラティ7 毎月2回(平均9人)	A	①	公園ボランティアによる樹林管理を推進し、適正に維持管理が行われた。	
6	戦略プロジェクト	自然や緑を守りつくるプロジェクト	自然を守りつくる	自然再生事業の展開	12	自然再生事業の展開	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	公園の樹林地の密林化を解消し、多様な植生の回復や防犯・防災の実施が図れるよう実施していく。	福生の代表的な緑地である玉川上水緑地、多摩川緑地、熊川緑地、原ヶ谷緑地について順次、自然再生が図れるよう整備を実施する。	11,944,692	土木費	都市計画費	公園管理費	公園維持管理費	玉川上水緑地日光橋公園、下の川緑地せせらぎ遊歩道公園、中福生公園、熊川公園にて緑地整備工事を実施	A	①	玉川上水緑地日光橋公園を中心に自然再生が図れるよう整備を実施した。	
7	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	熊川分水保全学習の展開	13	熊川分水たんけん隊、熊川分水に親しむ講座	教育部	公民館	白梅分館	継続	熊川分水の文化的・自然的価値を再発見する講座、子ども探検隊等の開催	熊川分水たんけん隊 1コース 1回 熊川分水に親しむ講座 1コース 4回	76,776	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	熊川分水たんけん隊 1コース1回 16人 熊川分水に親しむ講座 1コース4回 延べ40人	A	①	NPO、サークルと協働し、熊川分水についての理解、誇りと愛着を持てるような取り組みを継続的に実施している。	
8	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	保全・活用方針の検討	13	保全・活用方針の検討	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	用水保全及び修景ルールの研究・確立	熊川分水に親しむ会と福生市との協働により保全に努める。	0					熊川分水に親しむ会と定期的に意見交換会を実施し、維持保全や要望についての検討をした。	A	①	熊川分水の保全等について検討し、保全に努めた。	
9	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	熊川分水を活かすまちをつくる	森田製糸跡地に残る熊川分水の保護・管理	13	森田製糸跡地(片倉跡地)に残る熊川分水の保護・管理	企画財政部	企画調整課	企画調整担当	継続	都への働きかけ	都へ環境整備等の要望を行う。	0					東京都市町村企画研究会より、「玉川上水等環境整備の推進」として、都市整備局等に対し散策路の整備等の要望を行った。	A	①	東京都市長会を通じて要望を行った。	
10	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	保全・活用方針の検討	14	保全・活用方針の検討	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	上水沿いの市道・水道局用地・市有地の遊歩道化の可能性調査	東京都水道局及び福生警察署等と調査中。今後も引き続き行う。	0					玉川上水沿いの市道の遊歩道化に関し、引き続き福生警察署等と調整中である。	B	②	引き続き調整している。	
11	戦略プロジェクト	福生らしい水辺の景観づくりプロジェクト	玉川上水沿いに遊歩道をつくる	都事業化への働きかけ	14	都事業化への働きかけ	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	都「史跡玉川上水整備活用計画」計画対象区間延伸への働きかけ	前年度と同様に「史跡玉川上水整備活用計画」の計画対象区間の上流部まで延伸を都へ要請する。	0					「史跡玉川上水整備活用計画」の計画対象区間の上流部まで延伸について、東京都水道局に要請を行った。	A	①	東京都水道局に要請した。	
12	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	水質汚濁防止・河川水量の確保	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	河川維持水量の確保に向けて、関係機関への働きかけを継続。	0					河川維持水量の確保について、国交省に要望した。	A	①	国交省に要望した。	
13	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の改善	①水質汚濁防止・河川水量の確保	16	水質汚濁防止・河川水量の確保	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	下水道への油や界面活性剤、洗車等による汚染物の混入防止対策、また、水質汚濁防止の周知を行う。	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行う。年4回下水道接続点にて水質調査を実施する。	961,975	下水道	1総務費 1総務管理費	2維持管理費	下水道施設維持管理費	市内事業者に対して下水道法に基づく特定施設の届出・水質管理を継続して指導を行い、年4回の水質調査を実施した。	A	①	水質検査の結果、異常値なし	
14	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の改善	②湧水の保護	16	湧水の保護	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	清岩院など拝島段丘の崖線に連なる湧水群及びその周辺環境の保護を図る保全方針の策定。	緑の基本計画に基づき、その中で検討していく。	0					緑の基本計画に基づき、引き続き湧水の維持について検討中である。	B	②	引き続き検討している。	
15	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の改善	②湧水の保護	16	湧水地点水質調査	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	湧水モニタリング調査の実施(No.4)	湧水の保全のため、湧水の水質調査を行う。	0				毎月一度、湧水3箇所と多摩川の水質検査を行った。また、春夏秋冬の代表月でそれぞれ、湧水6箇所と多摩川の水質検査を行った。実施回数：12回	A	②	法政大学山崎ゼミナールとの打ち合わせを行い、学生と協働して、4月から毎月1回の実態調査を行った。	
16	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水のかん養・冠水防止	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続		河川維持水量確保を目的とする地下水かん養のため、一般宅地での雨水浸透ますの設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行う。	一般宅地での雨水浸透ますの設置助成及び、宅地開発における雨水浸透施設設置の指導を行い地下水かん養に努めていく。	1,154,000	下水道	2事業費 1下水道整備費	1管渠費	雨水浸透施設設置事業費	HPにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展 27年度：3箇所(17個)、助成額 464,000円 宅地開発指導件数 10件	A	①	昨年度の実績を上回る。防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
17	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	③地下水のかん養・冠水防止	16	地下水揚水量報告事務	生活環境部	環境課	環境係	継続	「東京都環境確保条例」に基づき、地下水の揚水量指導に努める。	東京都環境確保条例に基づき、地下水揚水量報告書の提出と揚水規制業務、地盤沈下対策のため適正使用指導を行う。	0					市内16事業所から地下水揚水量報告書の提出とともに、適正使用について指導を行った。	A	①	事業者の適正使用の徹底が図れた。	
18	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	雨水貯留槽設置助成金制度	都市建設部	施設課	下水道グループ	継続	家庭用雨水貯留槽の設置助成。晴天時の草木の水やり、打ち水に利用し、自然・省エネルギーへの転換を推進する。	年3回広報、福生市HPに掲載して周知。環境フェスティバル・七夕まつり・産業祭にブース出展を実施してPRする。市庁舎1階フロアに雨水貯留槽実物展示によりPR。予算：20基について設置助成を計画	199,000	下水道	1総務費 1総務管理費	1一般管理費	雨水貯留槽設置助成事業費	広報4、7、8月に掲載、HPにて周知、環境フェスティバル、七夕、産業祭にブース出展、市庁舎1階フロアに貯留槽実物展示。27年度：7基、助成額 199,000円	A	②	昨年度の実績を下回るも、防災計画総合治水に位置する案件でもあるので、今後も推進していく	
19	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水貯留施設の整備	都市建設部	施設課	建築グループ	継続	公共施設における雨水貯留施設の整備	公共施設における雨水貯留施設の整備の検討をする。	0					検討したが、実施なし	A	②	雨水利用に見合う事業がなかった	
20	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	自然の水循環・多摩川の水質・流量の改善	④雨水利用の推進	16	公共施設における雨水利用の促進	総務部	契約管財課	管財係	継続	公共施設における雨水利用の促進	雨水をトイレの洗浄水に再利用し節水を図っている。	81,000					年間中水使用料 1,341㎡ 雨水タンクに溜まった全量を再利用することができた。	A	①	雨水タンクの全量を再利用した。	
21	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	①河川防災施設の整備	17	河川防災施設の整備	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	用水堰による堆積土砂の除去や護岸などの補修・補強について、関係機関への働きかけを継続。	例年どおり京浜河川事務所に要望していく。	0					京浜河川事務所に堆積土砂の除去や護岸等の補修・補強について要望した。	A	①	京浜河川事務所に要請した。	
22	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	②川の自然観察等の促進	17	福生水辺の楽校	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生水辺の楽校の学習プログラム等を通して、川とその周辺の自然環境、生きものへの親しみ、生物多様性への理解を深める。	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(12回)、「多摩川サポーターズ」(4回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」全13回(雨天中止4回)428人。福生水辺の楽校「多摩川サポーターズ」全4回(雨天中止1回)66人。	A	①	福生水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。雨天中止が5回あったが、1回あたりの参加者は増えている。	
23	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	河川環境保全活動の推進	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	市民による河川一斉清掃を行い河川植生の再生などを支援。	市民ボランティアの協力による多摩川河川清掃を実施していく。	0					6月7日に河川清掃実施参加者 178名	A	①	清掃により、可燃及び不燃ごみを60kg回収した。	
24	自然の保全・再生	自然の水循環・多摩川の再生	河川生態系の保全	③河川環境保全活動の推進	17	カワラノギクプロジェクト	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川に残された生育地において市民、研究者、行政が協力しカワラノギクの絶滅を回避するため、保全・復元作業を行う。	「カワラノギクの保全・復元をめざす多摩川市民の会」が主体となるカワラノギクプロジェクトの周知、活動に参加協力し、河川植生の再生などを支援。	0					保全活動のボランティア募集広報とともに年5回に渡って延べ128名が活動に参加した。	A	①	活動に参加し、河川植生の再生支援ができた。	
25	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	①まとまった樹林地の確保	19	まとまった樹林地の確保	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	自然度の高い樹林地の連続性を保ち、都市計画公園や都市計画緑地として確保するため、緑の基本計画と併せ取り組む。	継続して緑地の確保に努める。	0					宅地開発等の事前打合せ等において、緑地の確保量について事業者に説明を行った。	B	②	引き続き事業者に対し説明を行っている。	
26	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	生垣保存協定補助制度	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、10年以上にわたる生垣の設置にかかる費用の補助制度により持続性の高い方法で保全。	生垣の設置にかかる費用の補助。	0	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	申請がなかった。	A	②	生垣の設置について問合せはあったが、申請には至らなかった。	
27	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	樹林地等の開発抑制・保全	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	東京都景観保全条例による規制、福生市宅地開発等指導要綱による指導をはじめ保存樹林地制度の継続、緑地保全地区の指定など、持続性の高い方法で保全。	緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき樹林地等の保全に努める。	0					緑確保の総合的な方針(東京都)に基づき、福生市宅地開発等指導要綱により、指導を行った。	B	②	引き続き福生市宅地開発等指導要綱により、指導を行っている。	
28	自然の保全・再生	都市の自然の再生	四つの自然軸の保全	②樹林地等の開発抑制・保全	19	保存樹林地指定制度	生活環境部	環境課	環境係	継続	福生市の緑を守り育てる条例に基づき、保存樹林地指定制度の継続により持続性の高い方法で保全。	保存樹林地等の指定及び奨励金の交付。	3,266,222	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	宅地介在山林(4件・6筆・2,300㎡)、一般山林(2件・3筆・669㎡)、保存樹木(40件・175本)、保存生垣(145件・158箇所・延長3,109m)	A	②	所有者11件を訪問し、現地確認とともに緑の保全の協力をお願いしている。	
29	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	①街区公園等の維持管理	20	街区公園等の維持管理	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	緑の基本計画に沿い、市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図る。	定期的な公園の巡回、公園ボランティアの活用を図ることで市街地の身近な公園を適正に維持管理するとともに公園ボランティア制度の促進を図っていく。	0					公園ボランティア登録者数(平成27年度末)個人登録 418人 団体登録 11団体	A	①	平成27年度新規登録者数 個人登録 4人 団体登録 1団体	
30	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	②自然再生事業の展開	20	自然再生事業の展開	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	都市計画公園や都市緑地などの樹林地や草地などについて、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進。	熊川緑地、原ヶ谷戸緑地について、その場所にあった自然のあり方を調査するとともに、萌芽更新など自然再生の取り組みを推進していく。	491,400	土木費	都市計画費	公園管理費	公園維持管理費	市域全体の緑地方針及び管理計画として「緑地整備計画」を作成した。	A	①	計画作成にあたり、自然再生の取り組みを推進するため、その緑地に適した自然のあり方を調査した。	
31	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	②自然再生事業の展開	20	外来生物防除委託	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ	神社、仏閣、蔵、木造住宅の屋根裏等にすみつくアライグマやハクビシンなどの外来生物の捕獲防除を中心に行い、生態系の保全、農業被害などの感染症予防を図る。	市民からの情報提供を受けるため定期的な広報掲載を行うとともに、委託事業により外来生物の捕獲防除を中心に行う。罠の設置拠点を増加し推進を図る。	788,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	アライグマ7匹、ハクビシン8匹を捕獲。罠は5箇所10基を設置。	A	①	新規に罠を3ヶ所3基増設できた。	
32	自然の保全・再生	都市の自然の再生	都市の自然生態系の再生	③林の自然観察等の促進	20	林の自然観察等の促進	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	生態系や生物多様性の調査・観察会など、市民団体の様々な活動を支援する。	緑地樹木等調査委託の結果を基に、生態系や生物多様性の確保について調査、研究していく。	0					加美上水公園ボランティアにて生態系の調査を実施	A	①	活動を支援するため、備品等の補助を行った。	
33	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	①景観まちづくり事業の推進	22	景観まちづくり事業の推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	まちづくり景観基本計画に基づき、重点的施策を推進。また、まちづくり景観推進連絡会、まちづくり景観審議会などの推進体制により景観形成を進めていく。	前年度と同様に、まちづくり景観推進連絡会等と景観について検討する。	0					まちづくり景観推進連絡会を毎月開催した。	A	①	福生の景観について検討した。	

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
34	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	害虫等駆除委託	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ	多摩川堤防沿いの桜に発生する害虫を防除する。また、感染症媒介蚊によるデング熱等が発生した場合の駆除に対応する。	多摩川堤防沿いの桜に発生する害虫を防除し、美しい緑を守る。また、感染症媒介蚊によるデング熱等が発生した場合の駆除に対応する。	81,972	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	1箇所33本の樹木について防除を行った。	A	①	多摩川の堤防沿いの桜に発生する害虫を防除した。	
35	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	自然・歴史・文化的景観資源を調査し、その場の雰囲気を保ちつつ保全・活用を進める。	毎月、まちづくり景観推進連絡会を開催する。また、年に1回、まちづくり景観フォーラムを開催する。	84,175	土木費	都市計画費	都市計画総務費	都市景観事業費	まちづくり景観推進連絡会主催で3月12日にまちづくり景観フォーラムを開催した。	A	①	まちづくり景観フォーラムを開催した。	
36	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	市民ボランティア文化財ガイド事業	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続	文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施。	市内文化財ツアー等を実施(年4回程度)(講師謝礼)	20,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	3回、51人	A	①	大変好評であり、内容についてもほぼ意図するものとして実施できた。	
37	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	多摩川堤防沿桜管理	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ	多摩川の堤防沿いの桜の管理を行う。	多摩川の堤防沿いの桜の支柱等剪定、落葉清掃等の管理を行う。	1,969,380	農林水産費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	多摩川堤防沿いの桜273本の不要枝の剪定。	A	①	多摩川堤防沿いの桜の不要枝等の剪定等管理を行った。	
38	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	多摩川堤防沿桜樹木診断委託	生活環境部	環境課	環境係	新規	多摩川の堤防沿いの桜について概ね50年～60年が経過し、長寿命化対策のため樹木診断を行う。	多摩川堤防沿いの桜について樹木診断を実施する。	1,404,000	農林水産費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	多摩川堤防沿いの桜273本(旧堤防:243本、新堤防30本)について樹木診断を実施した。	A	①	長寿命化に向けて、樹木の健全度が把握できた。	
39	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	わくわく土曜日「自然観察会」	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続	郷土資料室事業「わくわく土曜日」のプログラムの一つとして、文化の森を中心に動植物の観察を行う。	自然観察会の開催(年2回予定)(講師謝礼)	40,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	2回、17人	A	①	大変好評であり、内容についてもほぼ意図するものとして実施できた。	
40	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	②自然・歴史・文化的景観資源の保全・活用	22	公共施設等における木材の利用促進	都市建設部	施設課	建築グループ	新規	公共施設において木材を利用し、自然・文化的景観に配慮した整備に努める。	公共施設の建築、改修時において、可能な限り木材利用を検討する。	6,508,827	教育費	社会教育費	文化施設管理費	古民家改良事業	古民家改良工事(建築)契約金額28,871,640円の内	A	②	木造建築物である古民家の改修にできる限り多摩産材を利用した。	
41	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	③違反広告物の撤去	22	違反広告物撤去協力員制度	都市建設部	道路公園課	管理グループ	継続	道路沿線の捨て看板、街中の張り紙など景観阻害物の撤去を進める違反広告物撤去協力員制度を推進。	違反広告物の撤去活動を実施する。	0					違反広告物撤去協力員17団体114名はり札382枚を撤去	A	①	違反広告物自体が少なくなってきた。	
42	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	④清潔で美しいまちの維持	22	清潔で美しいまちの維持	都市建設部	道路公園課	管理・道路グループ	継続	熊川分水の一斉清掃をはじめとした町会・自治会の一斉清掃を継続する。	平成23年7月1日に福生市清潔で美しいまちづくり条例が制定されたことを踏まえて、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。	0					町会・自治会による熊川分水の清掃を平成27年6月7日に実施した。	A	①	継続して実施することができた。	
43	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	景観まちづくり	④清潔で美しいまちの維持	22	清潔で美しいまちの維持	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	町会・自治会の一斉清掃を継続し、ごみが捨てられにくい環境を維持。	清潔で美しいまちづくり重点地区を見回り調査し、清潔で美しいまちづくりの推進を図っていく。また、町会・自治会の一斉清掃を継続する。	5,201,232	衛生費	清掃費	清掃総務費	清潔で美しいまちづくり事業費	清潔で美しいまちづくり事業委託にて市内清掃と条例周知を行った。週3回、4人で巡回。町会・自治会一斉清掃実施。参加人数2,199人。	A	①	事業委託による清掃活動は認知されており、市民の理解が深まっている。一斉清掃は町会行事として定着しており、協力的である。	
44	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	①玉川上水沿いの遊歩道化	23	玉川上水沿いの遊歩道化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	国指定史跡文化財「玉川上水」の歴史的環境と自然環境の保全を基本に、遊歩道化実現可能区間における歩行ルートの確保をめざした取り組みを進める。	現地にて、車道の通行止めを実施し、データを基に福生警察署とまちづくり景観推進連絡会とで協議中である。	0					関係団体と、遊歩道化に関し引き続き検討している。	B	②	引き続き検討している。	
45	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	②散策路のネットワーク化	23	散策路のネットワーク化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	緑の多い安心して歩ける道をつなぎ、散策路のネットワーク化をめざす。	玉川上水の遊歩道を作るために、清岩院橋付近の玉川上水沿いの道路を一方通行にして、歩行ルートを確保する。	0					関係団体と、散策路について引き続き検討している。	B	②	引き続き検討している。	
46	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	23	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	レベルアップ	熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。同時に安全な歩行空間となるようなモデル的な取り組みに努める。	熊川分水の土地所有者より無償使用承諾を受け、市が管理改修を行う「熊川分水保全事業」を実施するとともに、引き続き熊川分水に親しむ会と協働して熊川分水の保全についてさらに検討を進める。	0					熊川分水の土地所有者より無償使用承諾を受けた部分について、市が維持管理を行う「熊川分水保全事業」を実施し、協定を締結(1件)した。	A	①	協定を締結し、市による維持管理を実施した。	
47	潤い豊かな安心できるまちの創造	福生らしい景観・資源を活かすまちづくり	玉川上水などを活かしたまちづくり	③熊川分水を活かすまちづくり	23	熊川分水を活かすまちづくり	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続	熊川分水を活かしたまちづくりを進めるため、水路の保存や水辺の環境整備に努める。	熊川分水の清掃活動を行うとともに、分水を活かしたまちづくりを進め、水路の環境整備に努めていく。	0					町会・自治会による熊川分水の清掃を平成27年6月7日に実施した。	A	①	継続して実施することができた。	
48	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心して歩ける道・緑の街づくり	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	都市計画マスタープランの策定において、バリアフリー推進計画に基づき関係機関と連携して進める。	0					都市マスタープランに基づき、バリアフリーを推進するため関係機関と連携に努めた。	B	②	引き続き関係機関と連携に努めている。	
49	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心して歩ける道・緑の街づくり	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	第2期バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に推進、誰もが安心して生活し、移動できるネットワーク化を取り入れた都市づくりを目指していく。	161,438,957	土木費	道路橋りょう費	緊急道路整備費	防衛施設周辺道路整備事業費	市道幹線Ⅱ-19号線外1改良工事(第3工区)延長417m 幅員16.0m	A	①	継続して実施することができた。	
50	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心して歩ける道・緑の街づくり	①地域バリアフリーの推進	25	地域バリアフリーの推進	福祉保健部	社会福祉課	庶務・福祉計画担当	継続	バリアフリー推進計画に基づき、関係機関等と連携して公的施設、公園、道路、公共交通など、まちのバリアフリーを総合的に進め、誰もが安心して生活し、移動できる都市づくりをめざす。	まちのバリアフリーを総合的に推進し、新築、改築等については東京都福祉のまちづくり条例に基づき、設計段階から指導していく。	0					バリアフリー推進計画における施設のバリアフリーでは、建築物1件、道路1件の整備が図られた。	A	①	東京都福祉のまちづくり条例などに基づく基準を順守した。	

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
51	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	②中心商業地区の安全化・快適化	25	福生市商店街振興プランの推進	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	商店街振興プランに基づき、商栄会等、関係機関と連携し、駅周辺商業地域の再生をめざし買い物・交流の街づくりを進める。	商店街が行うイベント事業、活性化事業に対し必要な補助金を交付することで、商店街の振興を図る。	10,997,000	商工費	商工費	商工業振興費	商工業振興費	イベント事業：7商店街12事業 活性化事業：3商店街6事業	A	①	新たな取組みもみられ、活用実績も増加傾向となっている。	
52	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	③生活道路の安全化	25	生活道路の安全化	都市建設部	道路公園課	道路グループ	継続	地域や警察署と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、「歩車共存」の生活道路整備を推進。	地域や警察署、相武国道、東京都と連携し、交通規制、道路構造の改善など様々な工夫により、ネットワーク化された「歩車共存」の生活道路整備を推進。	8,866,800	土木費	道路橋りょう費	道路新設改良費	市道改良事業費	市道幹線Ⅱ-10号線(銀座通り)改良工事 インターロッキングブロック舗装工A=284.2㎡ 区画線設置工 一式	A	①	継続して実施することができた。	
53	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	安心できる道路・都市施設の整備	④道路美化ボランティア制度の促進	25	道路美化ボランティア制度の推進	都市建設部	道路公園課	管理グループ	継続	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。	道路美化ボランティア制度などにより、市民と協働した維持管理の拡充を図る。 道路美化ボランティアを増やす。	0					道路美化ボランティア18団体373名	A	①	道路美化ボランティアが増えた。	
54	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	①住宅や事業所などの緑化	26	住宅や事業所などの緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	緑あふれる市街地形成のため、住宅や事業所等の緑の保存・維持・創出につながる施策を総合的に展開する。	福生市宅地開発等指導要綱に基づいた指導を行っている。	0					福生市宅地開発等指導要綱に基づき、緑化に関する指導を行った。	A	①	福生市宅地開発等指導要綱に基づき、指導を行った。	
55	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	26	公共施設等の緑化	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。 緑の基本計画に基づき保全に努める。	0					緑の基本計画に基づき、公共施設の緑の保全に努めた。	A	①	緑の基本計画に基づき、保全に努めた。	
56	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	②公共施設等の緑化	26	公共施設等の緑化	都市建設部	施設課	建築グループ	継続	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進します。	公共施設については、可能な限り緑地を確保するとともに、緑化を推進する。また、その後の適正な維持管理に努めていく。	6,026,273	教育費	小学校費	学校整備費	第五小学校校庭改良事業	福生第五小学校校庭改良工事 契約金額20,466,000円の内	A	②	校庭の一部を芝生化した	
57	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	26	市民農園整備	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	市民農園の借り上げ体験型農園の展開などの検討	市民農園の管理・整備を行う	511,000	農林水産業費	農業費	農業振興費	市民農園管理費	3農園(熊川東、南田園第2、福生加美)の更新にかかる整備工事の実施※協力会費と応分の負担	A	②	福生加美の空き区画の雑草等管理が行き届かない状況があった。	
58	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	26	生産緑地の活用	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	生産緑地などを保全するとともに都市農業への支援策を推進。	福生市農業振興計画において重点項目としている生産緑地の追加指定に向けた啓発事業を実施する。	0					農業振興計画見直しに合わせ、農業者アンケートを実施し、その中で生産緑地の追加指定についての質問等による意識の醸成、啓発を実施した。	A	①	チラシ等の配布による啓発のみでなくアンケートに回答する形での周知啓発は一歩進んだものと言える。	
59	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	③生産緑地の保全・活用	26	市民環境大学「ふっさECOカフェ」	生活環境部	環境課	環境係	継続	自然とともに暮らす楽しみ、自分らしいエコスタイルの発見、環境への負荷が少ない持続可能な暮らし方を考える場として実施。畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催する。	環境学習リーダー育成のための環境学習の推進。「ふっさECOカフェ」と称した畑での農業体験型講座の実施。	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	大豆栽培、枝豆収穫、豆腐作り。全6回。延べ96人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。	
60	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	26	花壇管理委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	多摩川中央公園、長徳寺産線、福生野球場内、南田園二丁目の花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開する。	多摩川中央公園、長徳寺産線、福生野球場内、南田園二丁目の花壇管理(除草、耕運)を行う。	432,000	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	福生野球場植込み地管理工46㎡×6回、長徳寺段下花壇管理工70㎡×3回、100㎡×1回、多摩川中央公園花壇管理工405㎡×4回、南田園二丁目花壇管理工262㎡×2回	A	①	多摩川中央公園、長徳寺産線、福生野球場内、南田園二丁目花壇を管理し花や緑あふれるまちづくりを展開した。	
61	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	26	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさ花とみどりの会の活動により、花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。(コンテスト等一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う)	735,000 [130,000]	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	花いっぱい運動やふっさ花とみどりの会の活動により、やなぎ通り110箇所、国道16号53箇所植栽を行った。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通じ、市内を花いっぱい潤すことができた。	
62	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	④花や緑のあるまちづくり	26	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	「花いっぱい運動」など市民の緑化活動との連携を図り、花苗の生産委託を行う。	グリーンクラブ福生へ花苗の生産委託を行う。	7,272,356	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を年2回行った。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与し、市内農業者が生産した花が市内各所に彩りを添えるのは非常に意義がある。	
63	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	⑤公園ボランティア制度の促進	26	公園ボランティア制度の促進	都市建設部	道路公園課	公園グループ	継続	市民や地域による公園の維持管理を促進し、公園がコミュニティ活動の場となるような取組みを進める。	市民や地域による公園の維持管理を促進し、市民自らが公園を守ることで、公園がコミュニティ活動の場となるような取組みを推進していく。	88,049	土木費	都市計画費	公園管理費	公園維持管理費	公園ボランティア制度の実施	A	①	ボランティア活動に伴う備品等の補助を行い、市民による公園の維持管理を促進した。	
64	潤い豊かな安心できるまちの創造	安心して歩ける道・緑の街づくり	緑豊かな優れた居住環境づくり	⑥人と動物の共生	26	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ		地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。	市民団体と協力し地域ネコ制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。 団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。 オス猫5頭分を去勢手術助成費減額分とメス猫10頭分の不妊手術助成金を増額。	559,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	オス31頭、メス34頭 計65頭	B	②	手術件数は順調なもの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
65	暮らし方の変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	②ごみを減らす生活の呼びかけ	28	ごみを減らす生活の呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	ごみの発生抑制のため、無駄なものは断る・買わないから始め、大切に使うこと、不要となった場合の有効利用を考慮した消費行動・事業活動と呼びかける。	広報ふっさ、清掃だより等によりPR。	783,114	衛生費	清掃費	清掃総務費	清掃事務費	広報ふっさ(毎月15日号)にて、ごみ、資源収集情報を掲載。清掃だよりにてごみ減量を呼び掛け。	A	①	可燃ごみの収集量は年々減少している。	

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等				
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由	
66	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	28	③事業系一般廃棄物の減量	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		事業系一般廃棄物処理計画書の指導など事業活動に伴う一般廃棄物の効果的な排出抑制につながる方法の工夫。	事業所に対して減量呼び掛け。	0					各事業所から事業系一般廃棄物処理計画書を提出していただくことにより、ごみ減量と資源化を呼び掛けた。	A	②	事業者より、ごみ減量と資源化に向けた計画書の提出を受けた。	
67	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	ごみの発生抑制・処理負担の適正化	28	④拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		拡大生産者責任に基づく事業活動への呼びかけ	ごみ減量化や資源循環に向けた、経済活動・システムへの変革について、拡大生産者責任の原則に基づく事業者責任の強化・明確化を図るなど、自治体に配慮した制度の着実な実施を国に要望するとともに、市内における資源循環型事業活動への転換を呼びかける。	レジ袋削減、簡易な包装など、ごみになるものを削減していくことを事業者へ呼び掛け。	0				拡大生産者責任の明確化と「EPR(生産者責任)法」の整備について国に要望された旨東京都市長会に継続要望した。	A	②	商工会の広報を通じてごみ減量を周知した。	
68	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	①分別による資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		分別による資源化	ごみの適切な資源化・処理が行われるように、排出時点での混入を防止するため分別・収集区分を明確化する。	ごみ分別の徹底。廃棄物減量監視事業の実施	63,628	衛生費	清掃費	塵芥処理費	収集運搬費	平成26年4月から収集体制を変更し、全てのごみ・資源を自宅及び集積所から排出することにより、分別の徹底を図った。	A	①	持込み以外のごみ収集量は総体的に減少している。
69	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	②生ごみ等資源化	生活環境部	環境課	ごみ対策係・リサイクルセンター係	継続		生ごみ等資源化	生ごみや剪定枝の資源化に向けた様々な収集・資源化等処理方法を研究し、有効利用されるよう努める。	環境フェスティバルにおいて、コンポスト等の周知により、生ごみのたい肥化を啓発。剪定枝の資源化処理方法の検討	718,496 35,478	衛生費	清掃費	塵芥処理費	中間処理費	市民から分別収集した剪定枝を資源化した。(18t)生ごみ堆肥化容器を貸与した。(5基)	A	①	剪定枝を資源化(活性炭化)し有効利用した。可燃ごみの収集量は年々減少している。
70	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	③廃プラスチック類の処理	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		廃プラスチック類の処理	リサイクルにかかわるエネルギー消費等も考慮しながら、廃プラスチック類の資源化技術の革新に応じ、再利用・再利用、熱回収などの処理方法・分別区分を改善する。	容器包装プラスチックの回収回数を増加	0				平成26年4月より容器包装プラスチックの回収回数を2週に1回から週1回に変更した。	A	①	容器包装プラスチックの回収量が増加した。	
71	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	④地域リサイクルシステムの強化	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		地域リサイクルシステムの強化	市民・事業者等による地域での再利用の促進や資源リサイクルシステムの強化に努める。	資源回収実施団体報償金制度を継続し、地域リサイクルシステムを強化する。	15,198,436	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	資源回収実施団体に対し報償金を交付した。資源回収実施団体83団体、実施回数885回	A	①	前年度より実施回数が増加している。
72	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	④地域リサイクルシステムの強化	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続		フリーマーケット	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。	市民団体等で実施するフリーマーケットの開催支援(年4回広報支援)	0				対象:熊川フリーマーケット・フレンドシップパークフリーマーケット 広報:7/1、8/15、11/15、12/1HP:随時更新	A	①	定例的な周知による支援を実施した。なお、自由広場フリーマーケットはH27は開催なし。H28以降は開催場所がなく終了。	
73	暮らしの変革・地球システムへの適合	ごみの発生抑制・資源化・適正処理の推進	資源化・適正処理のためのシステム構築	29	⑤適正な中間処理・最終処分	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続		適正な中間処理・最終処分の推進	エコセメント化など、最終処分場の延命化を進めるとともに、有害ごみ等の処分の適正さを確保する監査に努める。	埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討。	0				埋め立てごみを減らすためにリサイクルセンターでの選別の徹底、資源化の検討を図った。	A	①	埋め立てごみは年々減少している。	
74	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	①地球温暖化対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生まちなか涼み処、福生まちなか温み処	家庭での節電を奨励するとともに、公共施設において市民が涼み(温まり)、交流できるスペースを確保し、市民の利用を促す。各施設は、市民が気軽に、気兼ねなく過ごせる工夫をする。	家庭での節電対策として公共施設の利用を促す。家庭での電力及びエネルギー消費量を削減し、市全体での節電効果を高める。	0				家庭での節電対策として、夏季は「福生まちなか涼み処」、冬季は「福生まちなか温み処」を公共施設10箇所で開催した。	A	①	2030年までに温室効果ガスの50%削減という、非常に大きな目標を掲げている。その中で公共施設を利用し、少ない予算で事業展開できた。	
75	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	③省エネカーの普及	総務部	契約管財課	管財係	継続		省エネカーの普及	自動車交通による大気汚染物質、温室効果ガスの排出を低減するため、省エネカーの普及に取り組む。	公用自転車及び電動アシスト自転車の積極的な利用を促進する。補助金等予算措置が可能となれば、省エネカーへの買い換えに取り組む。	0				平成27年度は車両や自転車等の購入はなかった。	A	②	購入がある場合は省エネを考慮検討する。	
76	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	③省エネカーの普及	生活環境部	環境課	環境係	継続		電気自動車用急速充電器保守委託	電気自動車の普及・促進のため、電気自動車用急速充電器を24時間利用可能なサービスを提供する。	航続距離の短さや給電設備が少ないことから24時間、安心して利用できるよう保守委託を行う。	311,040	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	保守委託を行い、サービスの提供に努めた。	A	②	特段の異常はなかった。
77	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	④自転車のまちづくり	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続		駅前放置自転車クリーンキャンペーン	駅前放置自転車等を放置しないようにクリーンキャンペーンを実施。	年3回 春、秋、冬に実施。	0				4月:福生駅、牛浜駅、拝島駅で各1回実施(福生駅は雨天中止) 10月:福生駅で1回実施 2月:福生駅で1回実施	A	①	前年度比で放置自転車等の撤去台数が減少している。	
78	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	④自転車のまちづくり	総務部	安全安心まちづくり課	地域安全係	継続		放置自転車等対策関係委託	駅周辺に自転車等を放置させないため、指導、撤去、保管を実施。	指導、撤去、保管業務を委託。	13,735,386	総務費	総務管理費	交通安全対策費	駅周辺放置自転車等対策費	指導2,118台 撤去 732台 返還 477台	A	①	前年度比で放置自転車等の撤去台数が減少している。
79	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	④自転車のまちづくり	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	サイクルシェアリング事業	電動アシスト自転車のサイクルシェアリングにより、市内回遊性の向上による地域活性化と低炭素な移動手段による地球温暖化対策として地球にやさしいまちづくりを目指す。愛称は「たっけー☆☆サイクル」として広く市内外の方の利用を促進。(No.3)	くるみる ふっさを軸とした「まちなかおもてなし事業」としてサイクルシェアリングの運営を継続する。 ※予算は環境課所管のみ(まちなかおもてなし事業は委託により実施し、シティセールス推進課と環境課の共同事業)	5,507,760	衛生費	保健衛生費	環境保全費	サイクルシェアリング事業費	福祉センター駐車場内にサイクルポートを開設し、市内5箇所サイクルポートを整備した。	A	①	福祉センターのサイクルポートを開設したことで、田園地域からJR路線へのアクセスが便利になった。
80	暮らしの変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	32	④自転車のまちづくり	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		自転車のまちづくり	自動車依存から自転車使用の促進をめざし、自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。	都市計画マスタープランに基づき、検討を進める。	0				都市マスタープランに基づき、関係部署との連携に努めた。	B	②	引き続き関係部署との連携に努めている。	

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系			頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
						部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
81	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	④自転車のまちづくり	32	自転車のまちづくり	都市建設部	道路公園課	管理・道路グループ	継続	自動車依存から自転車使用の促進をめざし、自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を強化。	環境的な面や健康づくりの観点から市民の自転車使用の促進をめざし、安全・安心な自転車のまちづくりの条件整備に取り組む。同時に放置自転車対策を推進していく。	0					放置自転車40台を回収した。	A	①	放置自転車は、1週間程度の待機期間後、速やかに撤去回収した。
82	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	地球温暖化対策への取り組み	⑤公共交通の利用促進	32	公共交通の利用促進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続	市内交通需要の転換をめざし、鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進に取り組む。	JRを含む公共交通機関の利用促進のため、利便性向上等、関係する協議会等を通じて要請する。 ※予算額は関係する協議会等負担金	63,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費	JRへの要望活動(7回)協議会等負担金63,000円	A	①	JRを含む公共交通機関の利用促進のための利便性向上に向けて、関係する協議会等を通じて要請を行っている。
83	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種苦情処理	生活環境部	環境課	環境係	継続	騒音、振動、悪臭などの原因元への指導、生活公害の防止を行う。	各種苦情処理について丁寧かつ適切に対応していく。	0					市民からの苦情について、迅速に丁寧に対応した。(145件)	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
84	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	各種分析委託(公害)	生活環境部	環境課	環境係	継続	環境状況の観測・調査により実態を把握し、対策の基礎とする。	多摩川及び下水道(雨水管)で定期的な測定調査・分析を実施する(年8回7箇所)、浮遊粉じん等採取用の機材の設置を行い、3日間計測の後に分析を行う。燃料油(イオウ分)3検体について油中の硫黄の含有量を分析する。大気汚染調査(二酸化窒素)12検体の分析をする。工場排水2ヶ所において排水基準等項目の分析を行う。地下水汚染調査で市内10ヶ所について環境項目等項目の分析を行う。横田基地より流入している雨水管3ヶ所について環境項目・健康項目等項目の分析を行う。	1,800,900	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	福生市環境基本条例第8条第1号に基づき、市内における公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、工場廃止に伴い、工場排水調査について2ヶ所から1ヶ所に変更をした。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
85	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	航空機騒音測定器保守委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	航空機騒音測定を実施する(市役所屋上・熊川誘導灯付近)。	航空機騒音測定を実施する(市役所屋上・熊川誘導灯付近)。	340,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	市内の航空機騒音といった公害の防止を進めるための実態調査を行った。また、市民等からの苦情についても、迅速に対応した。	A	①	
86	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	自動車騒音調査等委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	(常時監視)：市内でセンサス区間に指定されている幹線道路20箇所(1箇所は毎年)の自動車騒音調査を5箇年以上にすべて行う。環境省に提出する自動車交通騒音対策の資料とする。(要請限度)：「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理する。都からの要請で実施。	自動車騒音調査(常時監視)：4箇所 自動車騒音調査(要請限度)：5箇所	1,868,400	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	騒音規制法第17条に基づき、市内でセンサス区間に指定されている幹線道路の自動車騒音調査を4箇所行った。「騒音規制法第17条第1項の規定に基づく指定地域内における自動車騒音の限度を定める省令」「振動規制法施行規則第12条」に基づき処理し、騒音調査について3日間、振動調査・交通量調査について1日間の自動車騒音調査を5箇所で行った。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
87	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	①公害防止対策の推進	33	横田基地航空機騒音対策の推進	企画財政部	企画調整課	基地・渉外担当	継続	横田基地における騒音被害を軽減する要請を継続。	市議会、横田基地周辺市町及び東京都と連携を取りながら、国及び米軍に対し航空機騒音対策を要請する。 ※予算額は関係する協議会等負担金	250,000	総務費	総務管理費	一般管理費	渉外費	国及び米軍に対しての要望活動(35回)協議会等負担金250,000円	A	①	関係市町及び東京都と連携を取りながら騒音測定を継続するとともに、必要に応じ関係機関に対し航空機騒音対策を要請している。
88	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	東京都環境・公害事務連絡協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続	26市で構成する東京都環境・公害事務連絡協議会への参加し、近隣市との連絡調整・情報共有等を行う	協議会6回、研修会等2回(負担金)	3,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	公害対策費	協議会6回、研修会等2回に参加。	A	①	環境に関する法改正や新たな環境問題の対応について、東京都や他市と有用な情報交換ができた。
89	暮らし方の変革・地球システムへの適合	地球環境問題・公害等への取り組み	公害防止・有害化学物質対策	②有害化学物質対策の推進	33	有害化学物質対策の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続	都環境確保条例に基づく事業所報告を指導するとともに、健康への悪影響、生態系のかく乱につながる有害化学物質の情報収集・提供、拡散防止に取り組む。	アスベストやその他の有害化学物質の発生・発見について、速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていく。	0					市内のアスベストやその他の有害化学物質等の公害防止を進めるための速やかな情報収集・情報提供・報告等を行っていった。また、市民等からの苦情についても、迅速に丁寧に対応した。	A	①	市民生活を脅かす公害問題に最優先に取り組み、市民の健康と生命の安全を第一に、公害のないまちづくりに努めた。
90	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	環境学習教員研修	生活環境部	環境課	環境係	継続	教員1年目(初任者)、2年目の教員及び環境教育に関心のある教員を対象に、福生市の自然と環境について学ぶ環境学習研修を実施する。	小・中学校教員対象の環境教育研修を開催する。	51,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	8月5日：参加者14人 8月6日：参加者9人	A	①	小・中学校教員対象の環境教育研修会を通じて、教員の資質向上を図った。
91	環境教育・学習の推進	①学校における環境教育の推進			34	「ごみのゆくえ」作成	生活環境部	環境課	ごみ対策係	継続	小学生を対象とした環境教育の推進	小学校4年生の社会科学習において、活用するため「ごみのゆくえ」を作成する。	97,200	衛生費	清掃費	ごみ減量対策費	ごみ減量対策費	社会科の授業の副読本として1小から7小へ435部配布した。	A	①	ごみ・資源分別の意識向上を図った。

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系	頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
				部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
92	環境教育・学習の推進	34	①学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係	継続	学校での環境教育の推進	小学校4年生の社会科学習において、「ごみのゆくえ」(環境課作成)を活用。各学校で総合的な学習の時間等において、環境教育に係る取組を実施する。	0					・小学4年生の社会科学習において、資料として「ごみのゆくえ」を活用 ・総合的な学習の時間等に学習活動市民講師を活用(活動回数16回)	A	①	・小学4年生の社会科学習に福生市作成の資料を活用することで、児童の地域への参画意識を高めた。 ・学習活動市民講師を活用した環境教育を実施した。	
93	環境教育・学習の推進	34	①学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係	継続	再掲	学校の環境教育を支援する体制の整備として環境課主催の環境学習教員研修への教員の参加。(No.90)	0					実施回数 4回 8/5(午前・午後):参加者13人 8/6(午前・午後):参加者9人	A	①	小・中学校教員対象の環境教育研修会を通じて、教員の資質向上を図った。	
94	環境教育・学習の推進	34	①学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係	継続		学校の環境教育を支援する体制の整備として理科支援員を配置	1,616,700	教育費	教育総務費	教育指導費	理数教育推進事業費	理科支援員活動時間 1,585時間	A	①	理科支援員を有効に活用し、理科学習の効果的な展開を図った。	
95	環境教育・学習の推進	34	①学校における環境教育の推進	教育部	教育指導課	指導係	継続		学校の環境教育を支援する体制の整備として学習指導市民講師による指導を行う。	63,000	教育費	教育総務費	教育指導費	教育指導事務費	学習活動市民講師活動回数 16回(再掲)	A	①	学習活動市民講師を有効に活用し、環境教育の効果的な展開を図った。	
96	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		市民と行政がすすめる多摩川リバーミュージアムプラン(自然・歴史・文化情報の収集・発信の支援、水と緑を中心とした学習・研究活動の展開、多摩川をフィールドとした環境学習の展開支援、自然を大切に「まちづくり」への各種活動の展開)	163,944	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	川の志民館の常時集中監視及び、異常を感じた際の対応。実施状況を月単位で報告。	A	①	常時集中監視が適切に行われた。	
97	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		市民で構成する団体が開催する学習活動の場に市職員を講師として派遣し、市政の現状を学ぶ機会や行政情報を提供する機会の拡充を図る。	0					74講座(官公署を含む)により市政出前講座を実施する。	A	①	実施件数の増加	
98	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続	再掲	文化財ガイド養成講座修了者による市内文化財ツアー等の実施。(No.36)	20,000	教育費	社会教育費	文化財保護費	講座教室講師謝礼	3回、51人	A	①	大変好評であり、内容についてもほぼ意図するものとして実施できた。	
99	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	公民館係	継続		青少年を対象とした体験・学習機会の拡充	367,728	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	夏休み自然体験教室 1コース9回 延べ142人	A	①	NPOと協働し、子ども達の環境学習に継続的に取り組んでいる。	
100	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	教育部	生涯学習推進課	文化財係	継続		子どもを対象とした学習施設の見学	10,100	教育費	社会教育費	文化財保護費	有料道路使用料・駐車場使用料	1回、20人	A	①	大変好評であり、内容についてもほぼ意図するものとして実施できた。	
101	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境にやさしいライフスタイルや自然との共生について関心を高める。	1,500,000 [930,190]	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	6月7日開催。参加団体41団体、来場者5,100人	A	①	イベントや事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。	
102	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	子どもや親子を対象とした体験・学習機会の拡充。(No.22)	1,400,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生水辺の楽校「多摩川で遊ぼう」(12回)、「多摩川サポーターズ」(4回)で、多摩川に生きる生物や植物について自然観察を行い、多摩川への理解を深めるプログラムを実施。	A	①	福生水辺の楽校運営協議会への委託事業。毎年参加者から好評を得て実施している。雨天中止が5回あったが、1回あたりの参加者は増えている。	
103	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		みどりのカーテンを推奨し、促進するため、ゴーヤの苗の配布、講習会等を実施し地域・市民の環境学習を推進する。(福生スクラムマイナス50%協議会事業)	[150,000]					ゴーヤの苗配布(200ポット):5月9日実施。みどりのカーテンコンテスト表彰式:12月9日実施、12組応募。ふっさ環境フェスティバルでゴーヤの苗配布(700ポット)。	A	①	コンテストでは、見事なみどりのカーテンが多く、優秀者に表彰及び記念品を授与した。	
104	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関して楽しく学習する機会を設け、環境リーダーの育成を目指す。(福生スクラム・マイナス50%協議会事業)	[100,000]					全6回の環境学習講座を実施。参加者10人、延べ37人。	A	②	学習講座を通じ、市民が環境についての知識を深めることができた。	
105	環境教育・学習の推進	34	②地域・市民の環境学習の推進	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	自然とともに暮らす楽しみ、自分らしいエコスタイルの発見、環境への負担が少ない持続可能な暮らし方を考える場として実施。畑での大豆を栽培し、収穫した大豆で豆腐作り等を行う講座を開催する。(No.59)	702,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	大豆栽培、枝豆収穫、豆腐作り。全6回。延べ96人。	A	①	事業を通じ、市民が身近に環境について考え学び活動できた。	

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
106	環境教育・学習の推進	②地域・市民の環境学習の推進			34	地域・市民の環境学習の推進	教育部	公民館	松林分館	継続		まちづくり講座の中で環境学習を推進する。	環境学習講座の実施	55,000	教育費	社会教育費	公民館費	講座等開設費	まちづくり講座 1コース4回 延べ62人	A	①	座学だけでなく、実際にまちを視察することで、住環境等を把握した。
107	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		景観調査	まちづくり景観推進連絡会と継続して景観について協議していく。	0					まちづくり景観推進連絡会を毎月開催することにより、景観に関する情報共有を行った。	A	①	景観に関する情報共有を行った。
108	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	協働事業について	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		玉川上水遊歩道化調査、散策ガイドマップ作成	玉川上水遊歩道が福生市内で途切れているため、遊歩道の整備について検討していく。	0					遊歩道の整備について、引き続き玉川上水遊歩道を考える会と検討した。	B	②	引き続き検討している。
109	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	協働事業について	都市建設部	道路公園課	管理・公園グループ	継続		萌芽更新等	萌芽更新、公園ボランティア、公園草花植栽、道路美化ボランティア、違反広告物撤去協力員	0					萌芽更新、公園ボランティア、公園草花植栽、道路美化ボランティア、違反広告物撤去協力員と協働した。	A	①	協働により、市内の景観美化が図られた。
110	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ	再掲	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。(No.64)	市民団体と協力し地域ネコ制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。オス猫5頭分を去勢手術助成費減額分とメス猫10頭分の不妊手術助成金を増額。	559,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	オス31頭、メス34頭 計65頭	B	②	手術件数は順調なものの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
111	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	福生スクラム・マイナス50%協議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		福生スクラム・マイナス50%協議会により、みどり東京補助金の活用を図り、環境関連事業への取組みを支援する。	福生スクラム・マイナス50%協議会の開催。	[1,500,000]					5事業を実施した。 ①福生七夕まつりエコうちわ配布事業 ②みどりのカーテン大作戦 ③花いっぱい運動 ④ふっさ環境フェスティバル ⑤環境学習講座	A	①	協議会を1回開催し、それぞれの実施主体とは連携を図り実施できた。
112	パートナーシップの確立	協働事業の明確化			35	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。(No.72)	市民団体等が実施するフリーマーケットの開催の広報支援(年4回)等を行う。	0					対象：熊川フリーマーケット・フレンドシップパークフリーマーケット 広報：7/1、8/15、11/15、12/1 H P：随時更新	A	①	定期的な周知による支援を実施した。なお、自由広場フリーマーケットはH27は開催なし。H28以降は開催場所がなく終了。
113	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	まちづくり計画課	計画G	継続		景観まちづくり	まちづくり景観推進連絡会との協働により、宿橋通りを歩車共存の道路として整備した。今後、宿橋通りの周辺の景観も含めた活用方法について検討する。	0					まちづくり景観推進連絡会を毎月開催することにより、引き続き宿橋通りの周辺の景観を含めた活用方法について検討した。	A	①	宿橋通りの周辺の景観を含めた活用方法について検討した。
114	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	道路公園課	管理・公園グループ	継続		公園ボランティア、道路美化ボランティア、違反広告撤去協力員	引き続きの公園ボランティア、道路美化ボランティア、違反広告撤去協力員の推進に取り組んでいく。	0					公園ボランティア11団体418名 道路美化ボランティア18団体373名 違反広告撤去協力員17団体114名	A	①	継続して実施することができた。
115	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	地域主体の環境まちづくり活動	都市建設部	道路公園課	道路・公園グループ	継続		一斉清掃及び河川一斉清掃	市民と協働した河川一斉清掃、熊川分水の清掃活動に取り組んでいく。	0					河川一斉清掃、熊川分水の清掃を6月7日に実施	A	①	市民と協働し、清掃活動に取り組んだ。
116	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	地域猫去勢・不妊手術費助成金	生活環境部	環境課	環境係	レベルアップ	再掲	地域猫の会がモデル地区の飼い主のいない猫に対して、給餌や糞尿処理などを行い、去勢・不妊手術を施し、飼い主のいない猫の適正な飼養管理を行っていく。(No.64)	市民団体と協力し地域ネコ制度等のPRに努めるとともに飼い主のモラルの向上を働きかける。団体には去勢・不妊手術費の助成を行う。オス猫5頭分を去勢手術助成費減額分とメス猫10頭分の不妊手術助成金を増額。	559,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	オス31頭、メス34頭 計65頭	B	②	手術件数は順調なものの、飼い主のいない猫の問題の解決には至っていない。
117	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	フリーマーケット	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	定期的なフリーマーケット開催を支援することで、消費者自らが時代に即応した確かな目でものを見分け、自らの力で自主的、合理的な消費生活の実現をめざして行動することを支援する。(No.72)	市民団体等が実施するフリーマーケットの開催の広報支援(年4回)等を行う。	0					対象：熊川フリーマーケット・フレンドシップパークフリーマーケット 広報：7/1、8/15、11/15、12/1 H P：随時更新	A	①	定期的な周知による支援を実施した。なお、自由広場フリーマーケットはH27は開催なし。H28以降は開催場所がなく終了。
118	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	ふっさ花いっぱい運動委託	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	花と緑のあるまちづくりのため春と秋の花いっぱい運動に合わせたふっさ花とみどりの会の活動により、花いっぱいに満ちあふれたまちづくり事業を展開していく。(No.61)	ふっさ花とみどりの会へ委託し、花いっぱい運動(春・秋の2回)に合わせた花植えやコンテストを行う。(コンテスト等一部については福生スクラム・マイナス50%協議会事業として行う)	735,000 [130,000]	農林水産業費	農業費	緑化推進費	緑化推進費	花いっぱい運動やふっさ花とみどりの会の活動により、やなぎ通り110箇所、国道16号53箇所の植栽を行った。	A	①	春と秋の花いっぱい運動、プランターや植栽ますの植栽を通し、市内を花いっぱいにするのができた。
119	パートナーシップの確立	町会・自治会への働きかけ			35	草花苗生産委託	生活環境部	シティセールス推進課	産業活性化グループ	継続	再掲	「花いっぱい運動」など市民の緑化活動との連携を図り、花苗の生産委託を行う。(No.62)	グリーンクラブ福生へ花苗の生産委託を行う。	7,272,356	農林水産業費	農業費	農業振興費	農業振興費	グリーンクラブ福生へ草花苗の生産委託を年2回行った。	A	①	緑豊かな環境づくりに寄与し、市内農業者が生産した花が市内各所に彩りを添えるのは非常に意義がある。

平成27年度環境基本計画実行計画

No	環境基本計画体系				頁	事業名(施策・取組の方向性)	担当			区分	再掲区分	内容	年度計画	決算額(円)	会計区分				平成27年度実績等			
							部	課	係						款	項	目	事業	事業量(回数、参加人数等)	実施評価	状況評価	評価理由
120	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援		36	市民活動災害補償制度	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		市民活動中に不測の事故により、賠償責任を負った場合、事故によって死亡し、又は傷害を負った場合の補償をすることにより、市民活動の健全な発展と向上、住みよい活力あるまちの実現を図る。	市民活動災害補償制度の実施により地域・市民等が活動しやすい環境整備の充実を図る。	585,070	総務費	総務管理費	諸費	市民活動推進費	傷害補償1件 140,000円	A	①	市民活動中の災害補償に対応することで、指導者・参加者が安心して活動できる環境整備を行えた。
121	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	①市民による環境まちづくり活動への支援		36	地域活性化交付金	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		地域社会における住民の福祉及び連帯意識の高揚を図るため、町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付することにより地域の活性化を図る。	地域社会におけるコミュニティ組織である町会・自治会が行う各種事業に対し、交付金を交付する。	9,007,408	総務費	総務管理費	諸費	町会等関係費	33団体 9,007,408円	A	①	町会・自治会が行う各種事業に対し交付金を交付することにより、地域の活性化を図った。
122	パートナーシップの確立	協働による事業推進の方法の確立	②市の政策決定・事業における市民参加の促進		36	協働事業推進会議	生活環境部	協働推進課	協働推進・男女平等推進担当	継続		各種計画策定における市民参加の徹底をはじめ、市民の参画を推進し、市民・事業者・行政の協働による事業展開に取り組む。	協働事業推進会議設置要綱に基づき、会議及び協働事業推進委員会を開催し、各部署での協働事業の推進を図る。	0					協働推進会議 2回実施	A	①	各部署における協働事業の履行状況や市政出前講座の内容について意見交換し、情報共有ができた。
123	計画推進体制の確立	環境マネジメントシステムのレベルアップ			37	福生市環境マネジメントシステム(F-e)	生活環境部	環境課	環境係	継続		平成26年度から「F-e」(福生市環境マネジメントシステム)により地球温暖化対策を進める。 (「F-e」は平成20年度から運用するLAS-Eを土台とした市民と協働したマネジメントシステム。)	「F-e」(福生市環境マネジメントシステム)の効果的な運営とするため市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	747,300	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	監査(平成28年1月27日から29日)、監査チーム会議(3回)、目標設定会議を実施。 市民監査委員 9名	A	②	監査や、会議等を通じて市民監査委員と連携を行い、システムの効果的な運用の検討を行った。
124	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供		37	「かんきょう通信」	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関する情報等を発信するため、市民編集員と協働し「かんきょう通信」を発行する。	かんきょう通信を発行する(年2回)。	464,587	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	かんきょう通信の発行(5月第38号・2月第39号)	A	①	かんきょう通信の発行と市内全戸に配布できた。
125	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供		37	福生市環境白書	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境に関する各種モニタリング情報の収集・整備を進めるとともに、計画の進捗状況を公表する。	福生市環境白書「福生市の環境」を発行し、ホームページへの掲載も行う。	74,250	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	福生市環境白書『福生市の環境平成26年度版』の発行、ホームページへ掲載。	A	①	環境白書の発行、ホームページ掲載を通じ、福生市の環境について公表できた。
126	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	①実施状況の公表、環境情報の提供			環境基本計画等改定委託	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境基本計画中期実施計画及び地球温暖化対策実行計画の策定	環境基本計画中期実施計画の改定は、平成26、27年の2ヶ年に行う。平成26年度に作成された市民提言(環境に関する市民意識調査含む)を受け、環境基本計画第2期中期実施計画を策定する。あわせて第3次福生市地球温暖化対策実行計画の策定を行う。	3,283,200	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境基本計画第2期中期実施計画は、目標と施策、管理目標の整合性を図り、進行管理しやすくした。第3次福生市地球温暖化対策実行計画では、新エネビジョンの部門別目標を軸に、状況変化の予測を含めた目標設定を行った。	A	①	第2期中期実施計画では、目標と施策、管理目標の整合性を図り、進行管理しやすくした。第3次福生市地球温暖化対策実行計画では、新エネビジョンの部門別目標を軸に、状況変化の予測を含めた目標設定を行った。
127	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	③環境マネジメントシステムの強化		38	環境自治体会議への参加	生活環境部	環境課	環境係	継続		環境行政についての取組みの情報交換を行う。	環境行政についての取組みの情報交換を行う。	50,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境自治体会議からの情報を逐次活用した。	A	①	環境行政についての取組みの情報交換ができた。
128	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	④事業所としての率先行動の推進		38	福生市環境マネジメントシステム(F-e)	生活環境部	環境課	環境係	継続	再掲	平成26年度から「F-e」(福生市環境マネジメントシステム)により地球温暖化対策を進める。 (「F-e」は平成20年度から運用するLAS-Eを土台とした市民と協働したマネジメントシステム。)(No.124)	「F-e」(福生市環境マネジメントシステム)の効果的な運営とするため市民監査委員とともにシステムの見直しを随時図っていく。	747,300	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	監査(平成28年1月27日から29日)、監査チーム会議(3回)、目標設定会議を実施。 市民監査委員 9名	A	①	監査や、会議等を通じて市民監査委員と連携を行い、システムの効果的な運用の検討を行った。
129	計画推進体制の確立	事業化システムの研究	⑤環境審議会の開催		38	環境審議会	生活環境部	環境課	環境係	継続		市の環境政策について専門的な立場から、評価・指導を得るため環境審議会を定期的に開催する。	福生市の環境施策、環境問題、環境基本計画実行計画等について、環境審議会を実施する。 開催予定:4回	187,000	衛生費	保健衛生費	環境保全費	環境保全費	環境審議会を3回開催した。	A	①	環境基本計画実行計画の他、第2期中期実施計画について審議した。